

静岡理工大 47社と連携

産学コラボネット 就業体験、講演など



産学コラボネットの進め方を説明する野口学長(左)＝袋井市の静岡理工科大で

袋井市の静岡理工大に野口博・同大学長、大は十四日、モノづくりに技術開発や人材育成などに向けて、県内四十七の各種企業と連携する任意団体「静岡理工科大 産学コラボネット」を立ち上げた。大学の施設や研究成果を企業に提供し、企業側は学生らに現実のビジネスのノウハウを伝えるなどの効果が期待されている。

同大でこの日に開かれた設立総会で、会長

「工業技術」、総合情報学部を活用する「情報サービス」の四部会が設けられた。

各企業で同大学生のインターンシップ(就業体験)受け入れや合同技術相談会、講演会などの開催のほか、同大情報のネット配信といった事業計画も決まった。

野口会長は「理工系大学として蓄積してきた学術資源を地域に還元したい。理系女子の視点がビジネスに反映される展開も視野に入りたい」と述べた。

静岡理工大は二〇一三年度、県と静岡、浜松、袋井各市と連携協定を結んでいる。

(飯田時生)

この記事・写真等は、中日新聞社の許諾を得て転載しています